

## 第3章 故障回復手順

本章では、IBM 5400-006に問題が発生したときの対処の方法について述べています。

### 3.1 故障箇所の判別

故障が起こった場合は、簡単な操作で直る場合もありますので、サービス技術員に連絡する前に本章を利用して故障箇所の判別、回復を図るようにしてください。

- 電源が入らない場合
  - 電源スイッチを一度切り、5秒以上経ってから入れ直してください。
  - 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
  - 電源を点検してください。
- 印字しない、正しく印字しない場合
  - インターフェース・ケーブルを接続し直してください。（インターフェース・ケーブルは IBM指定のものをご使用ください。）
  - プリンターの初期設定を確認してください。
  - 電源コンセントは、設備端子付き3極対応になっていることを確認してください。（3極 2極変換プラグは使用しないでください。）
- 状況コードが表示されている場合
  - 3-2ページの3.2、『メッセージとその対応』を参照してください。
- 印字品質が不良の場合
  - 2-48ページの2.9.1、『印字圧の調整』を参照して印字圧設定レバーの位置を調整してください。
  - 用紙の張り過ぎや緩み過ぎがないように、トラクターの位置を調整して適切な位置にあわせてください。
  - 行の中央部の印字が極端に薄くなった場合は、2-34ページの2.8、『インク・リボンの交換』を参照してリボンを交換してください。
  - 特定行または一部分の印字が薄くなり、ライン・カウンターの値 100000 を越える場合は、3-21ページの3.5、『プラテンの点検と打撃位置の変更』を参照してプラテンを点検してください。

上記いずれの方法でも回復しない場合は、弊社サービス技術員に連絡してください。

## 3.2 メッセージとその対応

印刷装置のメッセージ表示部にメッセージ（エラー・コードを含む）が表示された場合の対処の方法は次のとおりです。以下の対応でも解決できない場合はサービス技術員に連絡してください。

注:

1. エラー発生時のアラーム音は、**印刷中断** を押すことにより停止します。
2. 初期設定を行っているときのメッセージは下記メッセージ表とは異なりますので 2-66ページの2.12、『初期設定』を参照してください。

### 3.2.1 メッセージ表

メッセージ	意味と操作員の対応
<pre>IBM 5400-006 TEST      XX</pre>	<p>意味：印刷装置が自己診断テストを実行中です。（2-10ページの2.3、『電源オンと電源オフ』参照）</p> <p>操作員の対応：電源投入後1分経過しても表示が変わらないときは電源を切ってから入れ直してください。</p>
<pre>インサツ カノウ</pre>	<p>意味：印刷可能な状態です。</p>
<pre>インサツ カノウ インジ データ アリ</pre>	<p>意味：データを受信している状態です。</p> <p>操作員の対応：しばらくお待ちください。</p>
<pre>インサツ チュウダン XXX・XX</pre>	<p>意味：印刷中断状態になっています。（XXX.XXにはROMバージョンが表示されます。）</p> <p>操作員の対応：印刷可能状態にするには、<b>印刷</b> を押してください。</p>
<pre>インサツ チュウダン インサツ データハ アリマセン</pre>	<p>意味：<b>強制印刷</b> が押されたが、印刷されるデータがプリンター内部にありませんでした。</p> <p>操作員の対応：表示を消去するには、再度<b>強制印刷</b> を押してください。</p>
<pre>インサツ チュウダン インサツ データ アリ</pre>	<p>意味：PC から受信したデータが残っています。</p> <p>操作員の対応：印刷させたい場合は<b>強制印刷</b> を押してください。</p>
(PC 接続時およびLPR接続時のみ)	
<pre>インサツ チュウダン インサツ SW ノミ ユウコウ</pre>	<p>意味：受信途中のデータがある状態です。</p> <p>操作員の対応：<b>印刷</b> を押してデータ受信を完了させてください。</p>

メッセージ	意味と操作員の対応
<p>ホスト トレース</p>	<p>意味：ホスト・システムからのデータを 16進数のまま印字するモードになっています。(2-86ページの2.13、『ホスト・トレース印字』参照)</p> <p>操作員の対応：ホスト・トレースを終了するときは、<b>印刷中断</b>を押してから<b>印刷取消</b>を押してください。</p>
<p>テスト モード</p>	<p>意味：印刷装置がテスト・モードになっています。故障ではありません。</p> <p>操作員の対応：<b>印刷中断</b>を押してから<b>印刷取消</b>を押してください。(2-55ページの2.10、『テスト印刷』参照)</p>
<p>ヨウシガ アリマセン ヨウシヲ セットシテクダサイ</p>	<p>意味：用紙がなくなりました。</p> <p>操作員の対応：2-19ページの2.6、『印刷用紙の取り外しとセット』を参照して印刷用紙を補充してください。</p> <p>次ページ末端まで印刷する場合は<b>印刷中断</b>を押した後、<b>印刷</b>を押してください。(2-31ページの2.6.3、『用紙切れのとき』参照)</p>
<p>ヨウシツマリ ヨウシヲ ナオシテクダサイ</p>	<p>意味：用紙づまりが起きました。</p> <p>操作員の対応：3-15ページの3.3、『用紙づまりの除去』を参照して用紙づまりを直してください。</p>
<p>リボン ジャム リボンヲ ナオシテクダサイ</p>	<p>意味：リボン・ジャムが起きました。</p> <p>操作員の対応：3-18ページの3.4、『リボン・ジャムの除去』を参照してリボン・ジャムを直してください。</p>
<p>インサツジ プラテン オープン プラテンヲ トジテクダサイ</p>	<p>意味：印刷中に紙送り部が開けられました。</p> <p>操作員の対応：プラテン開閉レバーを手前に引いて紙送り部を閉めてください。</p>
<p>プラテン オープン プラテンヲ トジテクダサイ</p>	<p>意味：紙送り部が開いています。</p> <p>操作員の対応：プラテン開閉レバーを手前に引いて紙送り部を閉めてください。</p>
<p>スケールカバー オープン カバーヲ トジテクダサイ</p>	<p>意味：スケール・カバーが開いています。</p> <p>操作員の対応：スケール・カバーを閉じてください。</p>
<p>インサツ チュウダン(カノウ) リボンヲ コウカン シテクダサイ</p>	<p>意味：リボンの交換時期がきています。</p> <p>操作員の対応：2-34ページの2.8、『インク・リボンの交換』を参照してリボンを交換し、リボン寿命カウンターをリセットしてください。</p>
<p>クリア コマンド ジュシン</p>	<p>意味：クリア・コマンドをホスト・システムから受信しました。</p> <p>操作員の対応：<b>印刷中断</b>を押してください。その後ホスト・システムの操作員に理由を問い合わせてください。</p>

(システム・ポート接続時のみ)

## メッセージとその対応

メッセージ	意味と操作員の対応
ベル コマンド ジュシン	意味：ベル・コマンドをホスト・システムから受信しました。 操作員の対応：[印刷中断]を押してください。その後ホスト・システムの操作員に理由を問い合わせてください。
(システム・ポート接続時およびTelnet5250接続時のみ)	
データ チェック	意味：ホスト・システムのプログラムにエラーがあります。 操作員の対応：[印刷中断]を押してください。その後ホスト・システムのプログラマーに相談してください。
(システム・ポート接続時およびTelnet5250接続時のみ)	
データ エラー	意味：データ転送エラーです。 操作員の対応：電源を切り、5秒後に入れ直してください。
(パラレル・ポート接続時およびLPR接続時のみ)	
ホスト システム ト セツゾクサレテイマセン	意味：ホスト・システムと通信できません。 操作員の対応：通信ケーブルの接続状態をチェックしてください。それでも直らない場合はホスト・システムの操作員に知らせてください。 Telnet5250接続の場合は設定を再度確認してください。
(システム・ポート接続時およびTelnet5250接続時のみ)	
6 X X マシンチェック デンゲン イレナオシヒツヨウ	意味：印刷装置が故障した可能性があります。 操作員の対応：電源をいったん切り、5秒以上経ってからもう一度入れ直してください。
	意味：ホスト・システムとの通信エラーが発生しました。アドレスの設定が間違っている可能性があります。 操作員の対応：
6 C X マシンチェック	6 C 0 マシン チェック デンゲンヲ イレナオシテクダサイ
(システム・ポート接続時のみ)	上記の状況コードの場合はホスト・システムの操作員と相談して、正しいアドレスに設定し直してください。(1-22ページの『アドレスの設定』を参照) 上記以外の場合は、電源を切ってから入れ直してください。
	意味：電源が投入されました。(約1秒後に表示は変わります。) 操作員の対応：表示が変わらない場合は電源を切ってから入れ直してください。

メッセージ	意味と操作員の対応
<p>「その他のメッセージ」</p>	<p>意味：印刷装置がテスト・モードになっています。</p> <p>操作員の対応： <b>印刷取消</b> を押してください。「Diag Exit?」と出ます。<b>印刷</b> を押すと電源投入状態に戻ります。</p>
<p>テスト・ランプが点灯</p>	
<p>「その他のメッセージ」</p>	<p>意味：初期設定中または印刷装置が故障した可能性があります。</p> <p>操作員の対応：初期設定中であれば初期設定を続行してください。そうでなければ、電源を切ってから入れ直してください。</p>
<p>テスト・ランプは点灯していない</p>	
<p>注： Xは任意の英数字です。</p>	

### 3.2.2 Telnet5250 使用時のエラーメッセージ表

メッセージ	意味と操作員の対応
<p>TELNET エラー 8101 セッテイヲ カクニン クダサイ</p>	<p>意味：ホストシステムで構成されている仮想装置の機能の一部に、実行できないものがあります。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムで構成されている仮想装置を再構成してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に問題を報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPI8901を参照してください。</p>
<p>TELNET エラー 8104 セッテイヲ カクニン クダサイ</p>	<p>意味：ホストシステムが、前のリリースのソフトウェアを使用しています。プリンターを接続できません。</p> <p>操作員の対応：ホストシステムの管理者に報告し、ホストシステムを現行の IBM ソフトウェアに更新してください。</p> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPI8904を参照してください。</p>
<p>TELNET エラー 8106 セッテイヲ カクニン クダサイ</p>	<p>意味：ホストシステムへ自動サイン・オンを試みましたが、正常に行われませんでした。ホストシステムがサイン・オンを拒否したか、あるいは自動サイン・オン機能をサポートしていないかのどちらかです。</p> <p>操作員の対応：ホストシステムの管理者に報告してください。</p> <p>詳細はホストシステムのメッセージID:CPI8906を参照してください。</p>
<p>TELNET エラー 8201 セッテイヲ カクニン クダサイ</p>	<p>意味：Telnet5250接続エラー (8201)、Telnet5250プログラムエラー (8301)</p> <p>操作員の対応：</p>
<p>TELNET エラー 8301 セッテイヲ カクニン クダサイ</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステム管理者、もしくは、ネットワーク管理者に報告し、プリンターの Telnet5250 構成を再確認してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーが存在する場合には、プリンターを再起動した後に、再接続を行ってください。</li> <li>4. エラーがまだ存在する場合は、エラーコードをメモして、保守を依頼してください。</li> </ol>

メッセージ	意味と操作員の対応
<pre>TELNET エラー 8702 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：装置記述が見つかりませんでした。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. ホストシステムで、装置記述処理 (WRKDEVD) コマンドを使用して、どの装置が存在しているかを調べてください。</li><li>2. プリンターの装置記述名を変更するか、またはホストシステムで装置記述を作成してから、印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li><li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li></ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF2702を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8703 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：制御装置記述が存在しません。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. ホストシステムで制御装置記述処理(WRKCTLD) コマンドを使用し、どの制御装置が存在しているかを調べてください。</li><li>2. プリンターで指定している制御装置記述名を変更するか、あるいはプリンターで指定した名前の制御装置記述をホストシステムに作成してください。</li><li>3. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li><li>4. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li></ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージ ID:CPF2703 を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8777 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムは装置記述に損傷を検出しました</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. プリンターが使用している装置記述名をホストシステムから削除してください。</li><li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li><li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li></ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF2777を参照してください。</p>

メッセージ	意味と操作員の対応
<pre>TELNET エラー 8901 セッテイラ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：指定された仮想装置名は、オンへの構成変更保留状態にしてからでなければ、パス・スルーで使用することができません。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムの仮想装置をオンに構成変更してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージ ID:CPF8901 を参照してください。</p> <p>ホストシステムでは、装置をパス・スルーで使用する前にオンに構成変更する必要があります。ホストシステムがAS/400の場合には、VRYCFGコマンドを使用して、装置をオンに構成変更してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8902 セッテイラ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：仮想装置は、他のジョブによって使用中です。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定された仮想装置は現在使用することができません。現在これを使用しているジョブが終了するまで待つか、あるいは現在他のジョブによって使用中でない別の仮想装置をプリンターで指定し、印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>2. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージ ID:CPF8902 を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8903 セッテイラ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：指定された仮想装置名（VRTDEVパラメーター）は、パス・スルー用に正しく構成されていません。装置が仮想装置でないか、装置タイプが正しい仮想装置タイプとしてパス・スルーによって認識されていないか、あるいは装置が仮想制御装置に接続されていません。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムのVRTDEV パラメーターを訂正してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージ ID:CPF8903 を参照してください。</p> <p>装置がパス・スルー用に正しくない理由を調べるためには、装置記述表示(DSPDEV) コマンドを使用してください。装置名が正しい仮想装置であることが確実な場合には、装置記述削除(DLTDEV) コマンドを使用し、その後で表示装置記述作成(CRTDEVSP) コマンドを使用して、仮想制御装置に接続している仮想装置を作成し直してください。</p>

メッセージ	意味と操作員の対応
<pre>TELNET エラー 8906 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムでのパス・スルーの開始が正常に実行されませんでした。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>2. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8906を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8907 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムで内部通信障害が検出されました。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エラーの原因を調べるために、ホストシステムで、次のジョブ・ログの前にリストされたメッセージを参照し、エラーを訂正してください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. ローカルまたは遠隔システムの QSYSOPR メッセージ待ち行列。</li> <li>b. ローカルまたは遠隔システムのジョブ・ログ。</li> </ol> </li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージ ID:CPF8907 を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8910 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：指定された制御装置名がホストシステムでは、仮想ワークステーション制御機構として記述されています。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンターで指定している制御装置名を訂正して、印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>2. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージ ID:CPF8910 を参照してください。</p>

メッセージ	意味と操作員の対応
<pre>TELNET エラー 8916 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：次の理由のいずれかのために、選択した仮想装置がホストシステムで正常に実行されませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 指定された仮想装置タイプが使用可能でない。</li> <li>■ 指定された仮想装置が見つからなかった。</li> <li>■ 指定された仮想装置が仮想制御装置に接続されていなかった。</li> </ul> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムのジョブ・ログを参照し、エラーを訂正してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8916を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8917 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムでの、仮想制御装置または仮想装置が認可されていません。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステム管理者から権限を貰ってください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8917を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8918 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：パス・スルー・ジョブが、取り消されました。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>2. 再び問題が起こった場合には、ユーザーのパス・スルー・ジョブが取り消されたかどうかを調べるためにホストシステムの操作員に連絡してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージ ID:CPF8918 を参照してください。</p>

メッセージ	意味と操作員の対応
<pre>TELNET エラー 8920 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムの装置記述に内部的な障害があり、それが部分的損傷の原因となっています。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムで、プリンターの仮想装置をオフに構成変更してから再びオンに構成変更してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージ ID:CPF8920 を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8921 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：パス・スルーがホストシステムの装置を使用している時に、APPC 障害が起きました。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エラーの原因を調べるために、ホストシステムで、前にジョブ・ログにリストされたメッセージを参照し、エラーを訂正してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8921を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8922 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムから内部拡張プログラム間通信(APPC) システム・ネットワーク否定応答を受け取りました。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムにメッセージ CPF1269 がある場合には、これを参照して、提供される応答コードと関連した正確な原因と回復手順を調べてください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8922を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8923 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムで受け取ったパス・スルー・データ・ストリームにエラーがあります。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>2. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8923を参照してください。</p>

メッセージ	意味と操作員の対応
<pre>TELNET エラー 8925 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムでの装置記述構成時に、エラーが起きました。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムのジョブ・ログのメッセージを参照して、エラーを訂正してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8925を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8928 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムでの装置記述を変更しようとした時に、エラーが起きました。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムのジョブ・ログのメッセージを参照して、エラーを訂正してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8928を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8929 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムで装置をオンに構成変更することができなかった。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムのジョブ・ログのメッセージを参照して、エラーを訂正してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8929を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8930 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムの仮想印刷装置の作成に使用するメッセージ待ち行列は、仮想表示装置がまだ作成されていないので存在していません。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムのジョブ・ログのメッセージを参照して、エラーを訂正してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8930を参照してください。</p>

メッセージ	意味と操作員の対応
<pre>TELNET エラー 8934 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムが受け取ったセッション・データは、WSF/36 用です。セッションは取り消されました。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正しくないセッション・プロファイルが使用されている場合には、要求をやり直してください。そうでない場合には、セッション・プロファイルを変更してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5 秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8934を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8935 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムは、パス・スルー・セッションを開始する試みを受け入れません。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムがパス・スルー・セッションを受け入れるはずであると考えられる場合には、ホストシステムの管理者に連絡して、QRMTSIGN システム値を変更してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5 秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8935を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8936 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムが機密保護上の理由から、パス・スルー要求を拒否しました。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムの管理者に報告し、パス・スルー要求を許可するように構成をチェックしてください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5 秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8936を参照してください。</p>

メッセージ	意味と操作員の対応
<pre>TELNET エラー 8937 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムが自動サイン・オンの試みを拒否しました。</p> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パス・スルーを使用して自動サイン・オンが可能ならばであると考えられる場合には、ホストシステムの管理者に連絡してください。</li> <li>2. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>3. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージID:CPF8937を参照してください。</p>
<pre>TELNET エラー 8940 セッテイヲ カクニン クダサイ</pre>	<p>意味：ホストシステムは仮想装置を自動的に選択することができません。これは、次の理由の1つによって起こっている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 古いソフトウェア・リリースの S/38 または AS/400 システムであるために、受動システムが仮想装置の自動選択をサポートしていません。</li> <li>■ QAUTOVRT システム値に指定された限界のために、受動側 AS/400 システムはこれ以上仮想装置を自動的に構成することができません。</li> </ul> <p>操作員の対応：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホストシステムの管理者に報告し、次の1つまたは複数を実行してください。</li> <li>2. 自動選択仮想装置の許容数 (QAUTOVRTシステム値) を増やしてください。</li> <li>3. 仮想制御機構の名前 (VRTCTLパラメーター)、または仮想装置の名前のリスト (VRTDEVパラメーター)、のいずれかを指定して、要求をやり直してください。</li> <li>4. 印刷装置の電源を切り、5秒後に入れ直してください。</li> <li>5. エラーがまだ存在する場合には、ホストシステムの管理者に報告してください。</li> </ol> <p>詳細は、ホストシステムのメッセージ ID:CPF8940 を参照してください。</p>

### 3.3 用紙づまりの除去

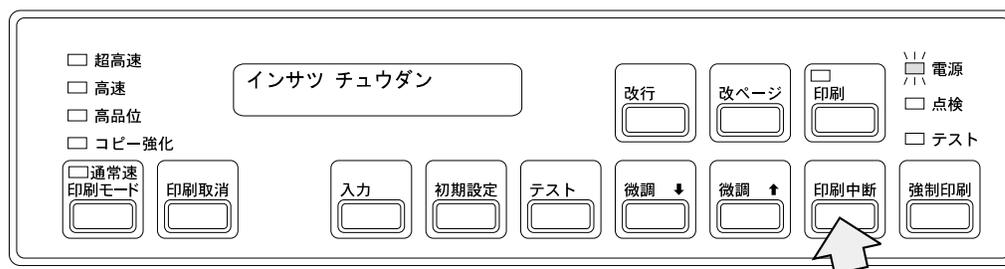
印刷装置で用紙づまりが発生すると、アラーム音とともに操作パネルの点検ライトが点灯し、次のメッセージが表示されます。

ヨウシヅマリ  
ヨウシラ ナオシテクダサイ

用紙づまりを除去する手順は以下のとおりです。

注： 頻繁に用紙づまりが発生したり、実際に用紙づまりが起きていないのに、操作パネル上に上記のメッセージが表示される場合は、印刷装置の電源を切って入れ直してください。それでも直らない場合はサービス技術員に連絡してください。

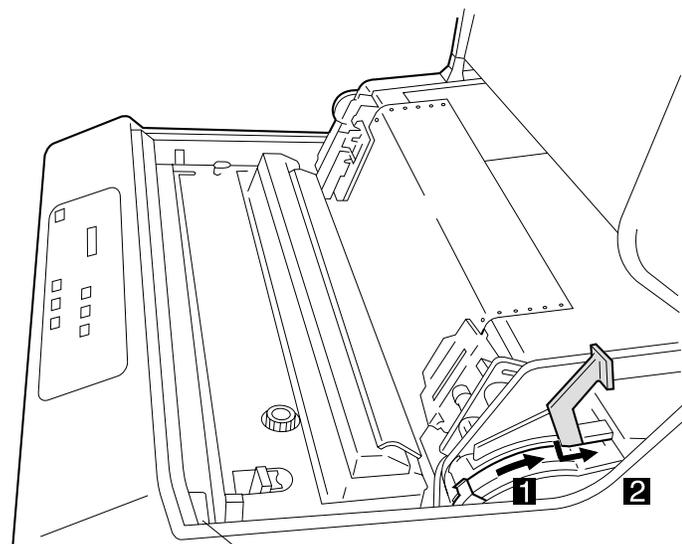
**1** **印刷中断** を押してください。アラーム音が止まり、点検ライトが消えます。



**2** セット・カバーを開けてください。

- 3** プラテン開閉レバーを図のように倒し、全開の状態にしてください。次にトラクター・カバーを開け、つまった用紙を取り除いてください。

プラテン開閉レバーは、図の矢印 **1** の方向に押し、「開」の状態になります。次に、矢印 **2** のようにレバーを右に押しながら後方に押し、「全開」の状態になります。



ライン・カウンター

注: プラテン開閉レバーは用紙づまりの除去の場合以外は、全開の状態にしないでください。

- 4** 使用している用紙を次の項目について点検してください。

- 用紙は規格どおりのものを使用していますか。

規格外の用紙は用紙づまりの原因となりますので使用しないでください。  
(付録A、『印刷用紙の規格』を参照してください。)

- 破れた用紙を使っていませんか。

破れた用紙は用紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

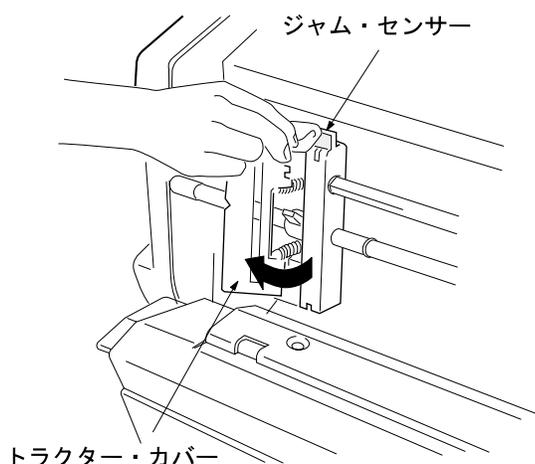
- 用紙に湿気がありませんか。

高湿度の場所に保管された用紙をそのまま使用すると用紙づまりが起きやすくなりますので使用しないでください。

用紙に問題がある場合は新しい用紙と交換してください。

**5** 用紙走行路を点検してください。

- フロント・ドアを開け、用紙の左右位置とトラクター部の用紙の左右位置が合っていることを確認してください。
- 用紙走行部に紙くずがたまっている場合は必ず電源を切り、ブラシ、掃除機などで掃除してください。
- また、印刷済みの用紙が正しく折りたたまれていることを点検してください。

**6** 用紙づまりセンサー（ジャム・センサー）の検出面が汚れているときは、左のトラクター・カバーを開け、柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

注： 直射日光などの強い光がセンサーにあたると、用紙づまりとして誤って検出しますので、ブラインドなどで直射日光をさえぎるようにしてください。

**7** プリンターに用紙をセットしてください。（2-19ページの2.6、『印刷用紙の取り外しとセット』を参照してください。）**8** 用紙セット後、印刷用紙の位置を調整してください。（2-50ページの2.9.2、『上下位置の調整』と2-51ページの2.9.3、『左右位置の調整』を参照してください。）**9** **印刷** を押して、印刷ライトが点灯することを確認してください。

### 3.4 リボン・ジャムの除去

印刷装置でリボン・ジャムが発生すると、アラーム音とともに操作パネルの点検ライトが点灯し、次のメッセージが表示されます。

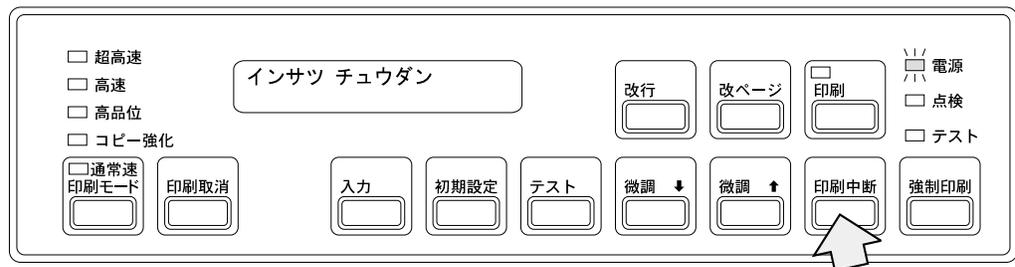
リボンジャム  
リボンヲ ナオシテクダサイ

リボン・ジャムを直す手順は以下のとおりです。

#### 注

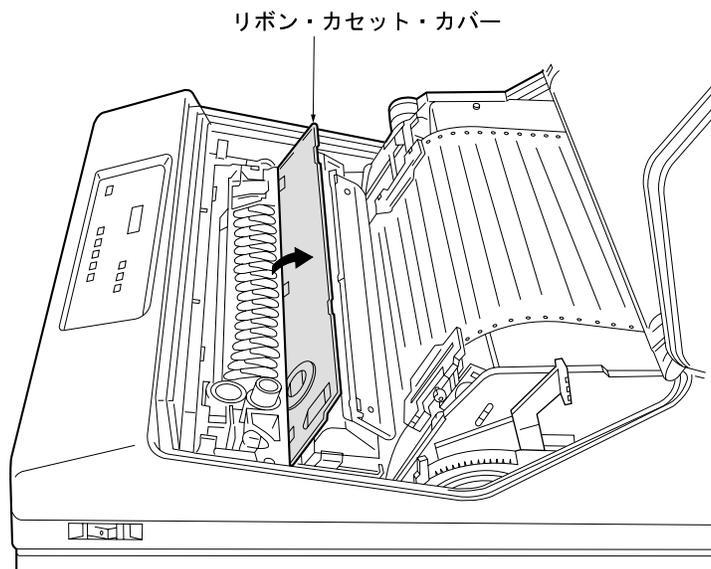
- 頻繁にリボン・ジャムが発生したり、以下の手順に従って処置をしてもまだ操作パネル上に同じメッセージが表示される場合は、印刷装置の電源を切って入れ直してください。  
それでも直らない場合は、サービス技術員に連絡してください。
- リボンのインクで手が汚れることがあります。作業の際は手が汚れないように、手袋を着用してください。

**1** **印刷中断** を押してください。アラーム音が止まり、点検ライトが消えます。



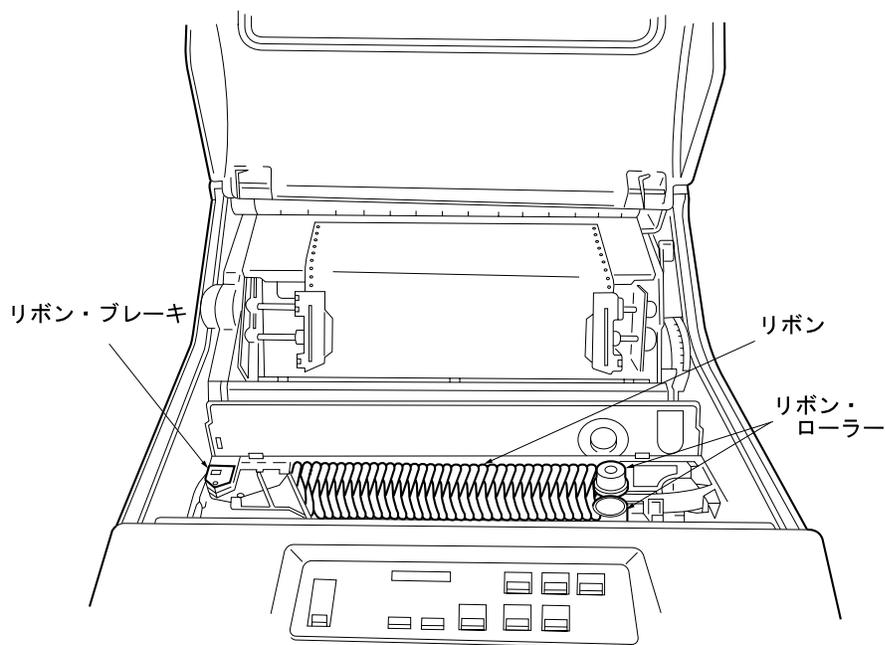
**2** セット・カバーを開けてください。

**3** リボン・カセット・カバーを開けてください。

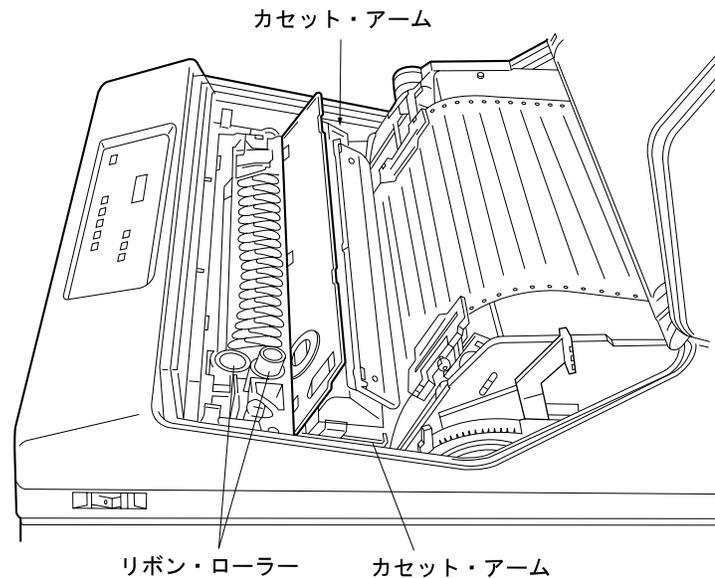


**4** リボンがリボン走行路内に正しく収まっているかどうかを点検してください。

- リボン・ローラーが閉じていることを確認してください。
- リボンが折れたり、たるんだり、ローラーなどに巻きついたりしている場合は正しくセットし直してください。
- リボンが破れたり古くなったりしていたらリボンを交換してください。(2-34ページの2.8、『インク・リボンの交換』を参照)



- 5 左右のカセット・アームおよびリボン・ローラーの周囲のリボンくずを除去してください。



- 6 印字圧設定レバーが正しく設定されているか確認してください。印字圧設定レバーは、2-48ページの2.9.1、『印字圧の調整』を参照して正しくセットしてください。
- 注： 印字圧設定レバーが用紙厚に合わせて正しく設定されていないとリボン・ジャムの原因となります。
- 7 リボン・カセット・カバーを取り付けてください。
- 8 セット・カバーを閉めてください。
- 9 **印刷** を押して、印刷ライトが点灯することを確認してください。

— ご注意ください —

同じリボン・カセットでの詰め替えリボンの交換は10回を限度にしてください。同じリボン・カセットを使用し続けるとリボン・ジャムの原因になりえますので、交換時期がきたら速やかな交換をお願いします。

## 3.5 プラテンの点検と打撃位置の変更

### 3.5.1 プラテンの点検

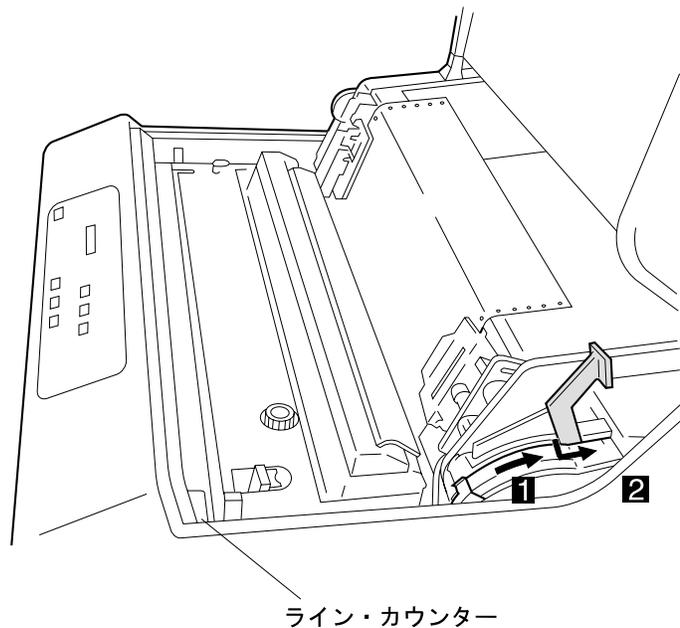
特定桁または一部分の印字が薄くなり、ライン・カウンターの値が 100000 を超える場合は、次の手順でプラテンを点検してください。

**1** 電源スイッチを ( ) 側に倒して、電源を切ってください。

**2** セット・カバーを開けてください。

**3** プラテン開閉レバーを全開の状態にしてください。

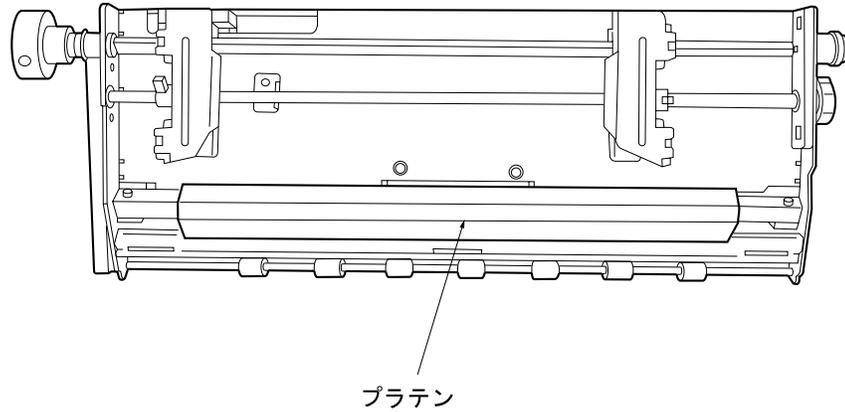
プラテン開閉レバーは、図の矢印 **1** の方向に押しと「開」の状態になります。次に、図の矢印 **2** のようにレバーを右に押しながら後方に押しと「全開」の状態になります。



**4** 印刷用紙を取り外してください。(2.6, 『印刷用紙の取り外しとセット』を参照してください。)

- 5** プラテンの表面に傷、およびプリント・ヘッド・ピンの打撃痕がないかを点検してください。

プラテンの表面に傷などがある場合は、「プラテン打撃位置の変更」にお進みください。

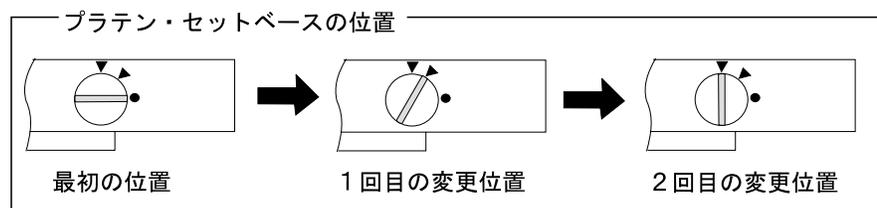
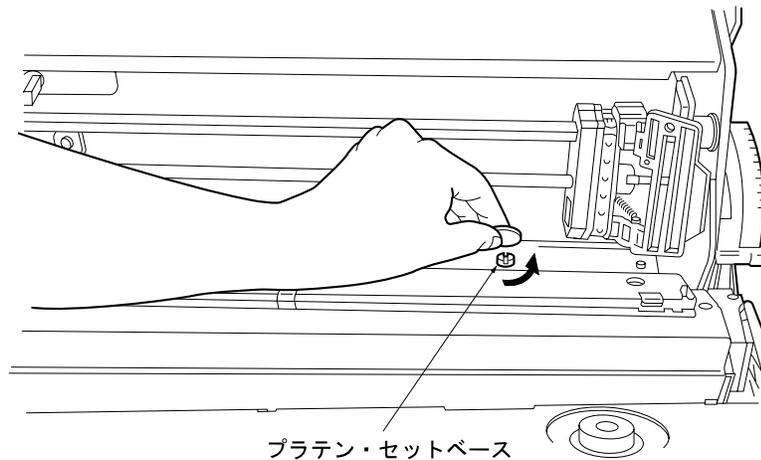


注: 印刷直後は、印字機構部が高温になっているので注意してください。

### 3.5.2 プラテン打撃位置の変更

プラテンの打撃位置は2回変更できます。

- 1 電源が切れていることを確認してください。
- 2 プラテン開閉レバーが後方に倒され、紙送り部が「開」または「全開」に開かれていることを確認してください。  
 注: プラテン開閉レバーを倒さず、紙送り部を閉じたままプラテン打撃位置の変更を行うと、故障の原因となることがありますので注意してください。
- 3 両側2個のプラテン・セットベースをコインで反時計回りに60°回してください。プラテンが少し下に落ち、打撃位置が変わります。このときのライン・カウンターの値を書き残しておいてください。  
 注: 2回目の変更の場合は30°回転になります。2回目の変更の目安としては、1回目の変更からライン・カウンターの値が100000増えたところとしてください。



- 4 プラテン開閉レバーを手前に引いて、紙送り部を閉じてください。
- 5 セット・カバーを閉じてください。

